

金沢工業大学 地域防災環境科学研究所
シンポジウム

南海トラフ巨大災害の 防災対策について

日時 平成26年 9月27日（土） 13:30 ～ 17:30

会場 金沢工業大学 扇が丘キャンパス 酒井メモリアルホール

開催趣旨

本シンポジウムは、文部科学省 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「南海トラフ超巨大災害に対する実効性ある防災対策に関する研究（平成25年度採択）」における研究成果に基づいています。

将来想定される災害に対して、実効性のある防災対策の提言のため、行政機関及び地方自治体を交えてディスカッションし、研究を進展させることを目指します。

定員
160名
参加費
無料

会場へのアクセス：

金沢工業大学 扇が丘キャンパス

〒921-8501 野々市市扇が丘7-1

http://www.kanazawa-it.ac.jp/about_kit/ogigaoka.html



問い合わせ先

金沢工業大学 地域防災環境科学研究所

〒924-0838 白山市八束穂3-1

TEL 076-274-7009(代) FAX 076-274-7102

E-mail ides@mlist.kanazawa-it.ac.jp

広報担当：土田義郎・円井基史

参加申し込みについて

下記を明記の上メールもしくはFAXにて、問い合わせ先までお申し込みください。

- (1)参加者全員のご氏名
- (2)ご所属先
- (3)懇親会への参加・不参加

シンポジウム 南海トラフ巨大災害の防災対策について

プログラム

司会 西村 督・山岸 邦彰

13:30	挨拶	金沢工業大学 学長		石川 憲一
13:35	挨拶	研究所	顧問	沓掛 哲男
13:45	主旨説明	研究所	所長	高島 秀雄（プロジェクト代表者）
14:10	セッション１ 巨大地震対策について 司会 宮里 心一・垂水 弘夫 超巨大災害発生直後における被害状況の迅速な把握対策（田村正行・京都大） 長周期地震動による超高層ビルの横揺れ対策（高島秀雄・金沢工大） 巨大地震による市街地の液状化対策（田村修次・東工大） 巨大地震による既存木造住宅の耐震化対策（後藤正美・金沢工大） 災害時における情報提供への取り組み（井澤慎治・国交省北陸地方整備局） 巨大地震に備えた耐震対策の取り組み ～液状化対策など～（岡山公雄・国交省近畿地方整備局）			
14:55	セッション２ 巨大津波対策について 司会 宮里 心一・川村 國夫 巨大津波に対する港湾施設の防災対策（栗山善昭・港湾空港技研） 巨大津波による火災対策（増田達男・金沢工大） 巨大津波による大型石油タンクの防災対策（西村督・金沢工大） 巨大津波に対する地下街及び地下鉄の防災対策（牧紀男・京都大） 巨大地震と巨大津波の連動作用における構造物の耐震対策（竹脇出・京都大） 巨大津波に備えた地域が連携した取り組み ～総合啓開と港湾部対策～（井口泰行・国交省中部地方整備局） 巨大津波による浸水想定区域の排水等の活動（岡山公雄・国交省近畿地方整備局）			
15:45-15:55 <休憩>				
15:55	セッション３ 避難・避難所対策について 司会 宮里 心一・後藤 正美 超巨大災害発生時の避難勧告・指示の効果的情報伝達対策（土田義郎・金沢工大） 超巨大災害での地域行政と地域住民が連携した防災力の向上対策（木村定雄・金沢工大） 巨大地震・巨大津波による建物被害の迅速な災害復興対策（山岸邦彰・金沢工大） 超巨大災害時の自然エネルギー利用による地域の創電・節電対策（垂水弘夫・金沢工大） 超長期滞在避難所及び仮設住宅での生活環境改善対策（円井基史・金沢工大） 巨大津波に備えた避難支援 ～避難路確保や道路啓開等の対策～（岡山公雄・国交省近畿地方整備局） 企業BCPから地域防災力の向上に向けて（井口泰行・国交省中部地方整備局） 自主防災組織による避難生活計画（板坂孝司・静岡県） 被災後の仮設住宅の早期確保と基礎自治体の取り組み（林重延・国交省四国地方整備局）			
17:00	セッション４ 支援活動対策について 司会 垂水 弘夫・後藤 正美 巨大地震・巨大津波による過大荷重を受けた社会資本施設の維持管理対策（宮里心一・金沢工大） 救援・支援活動に使用する幹線道路の防災対策（川村國夫・金沢工大） 巨大地震時における交通の流れ及び課題（井澤慎治・国交省北陸地方整備局） 南海トラフ巨大地震災害に対する中核都市間の救援・支援活動（詩丘樹持・金沢市）			
17:30	結び	木村 定雄		

懇親会： 18:30より金沢国際ホテルにて行います。
ご招待の方は無料、メンバーシップ会員は各社1名無料、その他の方は3000円となります。

広報担当：土田義郎・円井基史